

# 新型コロナウイルス感染症 ～暮らしの中で気を付けるべきこと～

鳥取県米子保健所長  
藤井 秀樹

経済活動の再開に伴い全国的な感染が広がり、鳥取県内でも新型コロナウイルス感染症の陽性者が2ケタに達しました。私たちが日頃の生活の中で注意すべきことは何か。医療現場や患者さんの状況を把握し、鳥取県西部の感染症対策の指揮を取る、米子保健所の藤井所長にお話を伺いました。



職員と協議を行う藤井所長(向かって左)

**Q** 今、藤井所長が取り組まれていることや、課題を教えてください。

**A** ①**感染症制御の最前線を担う米子保健所**  
新型コロナウイルス感染症に対する電話相談窓口を24時間体制で開設しています。このほか、PCR検査の調整、検体搬送、今後の感染拡大に備えての医療機関との調整なども行っています。

②**検査体制強化と病床の確保が重要**  
現在PCR検査を受けるには保健所が調整していますが、さらなる感染の拡大に備えて、検査体制を充実していく必要があります。そのために、開始時期は未定ですが、各医療機関がPCR検査などを行える機器の整備を予定しています。

また、感染された方を受け入れる病床を確保することも重要ですが、そのためには、他の病気の患者さんに移動していただく必要があります。新型コロナ感染症の患者さんが増加すると、通常の医療提供が影響を受けることも懸念されます。

**Q** 観光や仕事など、人が移動することにより、新型コロナウイルスが広がってしまうことを危惧する意見もあります。

**A** ①**感染予防策の徹底を**  
人が移動し、交流が活発になると感染は広がります。都道府県間の移動が再開されて、徐々に感染者が増えてきました。3密(密集、密接、密閉)を避ける、マスクを着用する、また、商業施設ではガイドラインを遵守いただくなど、感染予防策を徹底いただくことが大切です。

②**会議や会合はリモートで**  
今回の新型コロナウイルス感染症の広がりでは、在宅勤務の動きも広がりました。我々は新型コロナウイルス感染症を担当する医療機関との会議もWebで行うようになりました。参加者も、移動の時間がなく参加しやすいので、毎週負担感なく実施できています。

**Q** 暮らしの中で気を付けるべきことを教えてください。

**A** ③**3密を避ける**  
やはり3密を避けることです。親しい方やお知り合いとの会食であっても飛沫感染した例が発生していることから、会食の際も飲食以外の時はマスクを着けることも大切です。マスクを着用できないときは、相手との距離を保つ、換気などの対策をしっかり取るなどの工夫も必要です。

## 日野振興センターからのお願い

### 医療関係者、感染された方や御家族への配慮を忘れずに!!

- ◆医療関係者の皆さんは、無私の心で未知のウイルスに立ち向かい、患者さんや社会を救うために尽力しています。その勇気と努力に、心からのエールを送りましょう!
- ◆また、ウイルスには誰でも感染する可能性があります。県のウェブページなどから正確な情報を確認し、不確かな情報に惑わされることなく、冷静な行動をとっていただくようお願いいたします!

**+** **新型コロナウイルス感染症が心配な時は、かかりつけ医またはこちらへ御相談ください。**

西部地区発熱・帰国者・接触者相談センター(米子保健所内) 電話:0859-31-0029 24時間対応(土日、祝日を含む)

☎日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2086 FAX:0859-72-2072



### 表紙写真

タイトル:スリル満点の川下り

撮影者:日野町 高橋 八郎 氏(写友会ひの)

撮影者コメント:日野町を流れる一級河川の日野川では、春は4月・5月、秋は10月にラフティングで川下り(4km)を楽しめます。激流やよどむ淵、水しぶきをかぶり堰を下る個所などスリル満点。大自然を満喫することができます。こ寝覚峡は、奥日野県立公園の一角で風光明媚。小鳥のさえずりも、川面から山中を眺めるのも格別です。  
☎日野町教育委員会 電話:0859-72-2107